

第 1 回湯沢市公共施設マネジメント市民会議 議 事 録

日 時	平成 30 年 11 月 15 日 (木) 14:30~16:10
場 所	湯沢市役所本庁舎 会議室 43
出 席 者	委員：飯塚 哲夫 委員、 上野 悦子 委員、 菅 洋介 委員、 小松 裕美子 委員、 佐藤 忠明 委員、 樋渡 忍 委員 (※欠席：後藤 昭久 委員、 兼子 賢一 委員、 菅 義雄 委員) アドバイザー：川嶋幸夫氏 (湯沢市公共施設アドバイザー) 市 (事務局)：市長、総務部長、企画課長、企画政策班長、担当
(委嘱状 交付式)	1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員自己紹介、アドバイザー紹介、事務局紹介 5 閉 会
(会議)	1 開会 2 会長及び副会長の選任 会長：兼子 賢一 委員 副会長：飯塚 哲夫 委員 3 議事 (議長：飯塚副会長) (1) 会議の設置要綱について (2) 公共施設の現状と課題について (3) 湯沢市公共施設再編計画の策定について (4) 個別施設の方向性 (たたき台) について (5) 今後のスケジュールについて
議 長	改めまして飯塚と申します。本来、議事進行は会長が行う予定でしたが、欠席ということ で代打になりますが、よろしくお願ひします。 公共施設の問題について、個人的には5月に湯沢雄勝広域交流センターで行われた湯沢地 域の市民意見交換会で市や川嶋アドバイザーのお話を聞いて、11月の市民意見交換会では、 公共施設の中の集会施設についてお話を聞きました。今日、明日も市民意見交換会が行われ る予定になっているようです。 では議事に入ります。(1)会議の設置要綱について、事務局より説明をお願いします。
事 務 局	説明 (会議の設置要綱について)

議 長	<p>1項目ずつ御質問・御意見がありましたらお伺いしますが、全ての項目が終わってから御質問いただいても結構です。まずは（1）について御質問・御意見はございますか。なければ続けて進めさせていただきます。（2）公共施設の現状と課題について、事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>説明（公共施設の現状と課題について）</p>
議 長	<p>川嶋アドバイザーから他の自治体などに関連する事例などありましたら御紹介いただけないでしょうか。</p>
アドバイザー	<p>各自治体とも公共施設の再編については、今取組をしている状況で、すでに出来上がっている自治体もありますが、湯沢市と同じぐらいのペースで進行している自治体が圧倒的に多くなっています。各自治体は遅くもなく早くもなく、着々と進めている状況だと思います。</p> <p>特に、これから議論していくうえで重要視すべきは、「施設をなくす」というのが主眼ではなく、「施設がどうやって有効に使われているのか」を念頭に置くこと、そして、古くなったから廃止するというのではなく、中身がどうなのかを十分に吟味して、その結果中身が必要だと思ったときに、将来古くなったらなくすのか、代替できる施設があるから継続するのか、という観点で、個々の施設の必要性を議論していただくことです。</p> <p>現段階で特徴的な取組をしている自治体はないのですが、私が関わっている自治体の中では湯沢市が一番丁寧に取り組んでいると思いますので、ぜひ積極的に議論をしていただきたいと思います。</p>
議 長	<p>家の近くにある公共施設だと何となくわかるのですが、市内には約450の公共施設があると聞き、数の多さに驚くとともに、やはりその地域に行かなければ特殊な事情を理解できないことなどがあるかもしれませんので、簡単になくすとかどうするかということが決められないのではないかと思います。</p> <p>それでは次に（3）湯沢市公共施設再編計画の策定について、事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>説明（湯沢市公共施設再編計画の策定について）</p>
議 長	<p>今の説明に関して何か御意見はありますか。</p>
アドバイザー	<p>ここで、湯沢市の取組と他の自治体を比較したものを御紹介させていただきます。</p> <p>湯沢市では公共施設の延べ床面積45%削減の目標を掲げていますが、全国的に見るとこのように具体的な数値目標を掲げている自治体と、具体的な数値目標を掲げていない自治体は半々ぐらいとなっています。</p> <p>総合管理計画の段階で具体的に数値目標を掲げるというのは少し拙速ではないかと思い、私が計画策定にかかわった自治体は基本的には数値目標を入れておりません。これは何故か</p>

という、計画段階ではそれぞれの施設をまだ評価していません。例えば、今これくらいの維持費用がかかっているけれども、今後更新費用がこれくらいかかりそうなので45%削減しましょうというのは、少し乱暴な議論ではないかと思っているからです。

湯沢市では45%という数値を出していますが、半分ぐらいの自治体では、それぞれ個別の施設について課題を整理してから、改めて数値目標を決めることとしています。私が湯沢市へお願いしているのは45%という数字ありきでこの個別計画をつくるのはぜひ控えていただきたいという事です。改めて1つ1つの施設を十分吟味して、本当に必要なかどうか、代替策がないのかどうかを十分に精査してから具体的な数値目標を市民の皆さんに説明するという、つまり1つ1つの施設を丁寧に点検することが重要なのだと意見させていただいています。私も可能な限り1つ1つの施設を見せていただいて、状況を確認して、担当課の職員の皆さんの意見も聞きながら、こういう方法がいいのではないですか、ということを整理させていただくつもりです。

現在は、外部の視点で整理させていただいていますが、市から説明があったように、市民との意見交換会や若者女性協議会の中でいろいろな意見を聞いて、最終的には、今説明している内容と方向が違うものになっていく可能性も十分にあると思っています。

もう1つの特徴というのは、湯沢市は先ほどの資料にもあったように至極きめ細かい市民参加の仕組みを取り入れて、丁寧な準備をしているという点で、それは評価しなければいけないところであると思います。アンケートはどの自治体も行っています。説明会もどの自治体も行っていますが、行政側と市民という構図の中で、行政側から一方的に説明しても意見はあまり出てきません。そういう取組ではなくて、議長も参加している意見交換会のような、丁寧な説明を繰り返して、1つ1つを整理していくというのが湯沢市の大きな特徴と考えています。ぜひそういう経過も含めて、この会議の中で最終的な議論をしていただければと思っておりますので、忌憚のない意見をお願いします。

議長 委員の皆さんから御意見・御質問はありませんか。

委員 いろいろな部類がある中で、施設の機能をまとめた資料がないように思います。総合振興計画を実施していくに当たって、おそらく必要な機能、必要でない機能があるかと思うのですが、その視点で資料があると総合振興計画にも反映されやすいと思います。それぞれ微妙に異なる機能の施設をまとめるのは難しいと思いますが、機能別に分類した資料があればいいと思いました。

議長 湯沢市自治組織連絡協議会という会に出席していますが、その中で公共交通の問題がでてきます。これは、今まで羽後交通さんが遠方までバスを運行していたのが、近隣までの運行になってしまって、遠隔地は廃止になり買い物難民が出るなど、バスの運行不足が問題になっています。これは市でも大変苦慮している問題です。例えば、横手市増田の狙半内という地区では、自治組織でこの問題の勉強会を開いていたりしますが、いずれ湯沢市内でもこういう勉強会を開くことが考えられます。

その中で注目すべきは、横手市増田の狙半内では、公共施設を中心にこの問題を含めて様々な取組をしているというところだと思います。公共施設の再編計画というのは、そのような問題を絡

	<p>めて重要な問題であり、地域の特殊な事情も加味したものであると認識しています。</p> <p>それでは、(4) 個別施設の方向性（たたき台）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	説明（個別施設の方向性（たたき台）について）
議長	御意見はございますか。
委員	<p>三関小学校について、空いている教室があるのですが、学童保育の機能がなく三関地区センターで行っているキッズステーションで見ていただいている現状です。一方でやはり学童の機能が必要な保護者は、湯沢西小学校など学区外へ通学をしているようです。人数は確かに少ないのですが、三関小学校でも学童保育の機能があればありがたいと思います。</p>
議長	<p>学校に関して、昔は、この地区は湯沢東小学校、この地区は湯沢西小学校と区別されていたのですが、現在は地区に関係なく通学できるそうです。そういった点で、公共施設の再編は学校の再編にも絡む問題だと思います。</p> <p>では、(5) 今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	説明（今後のスケジュールについて）
議長	御意見・感想はございませんか。
委員	<p>皆瀬地区で意見交換会が5月と11月にあったのですが、私はどちらとも出席させていただきました。ただ、出席される方は毎回同じ顔ぶれで、人数も少なかったです。こういう計画はぜひ若い方に聞いてもらいたいと思いますので、年配者の方から声をかけて誘っていただき、ぜひ参加してもらいたいと思います。私たちは20・30年後大分年をとっていますが、その時に中心になっているのは20代・30代だと思います。私も若い世代に声をかけて参加しました。</p>
議長	<p>今後も各地で意見交換会が実施されるようなので、その時に若い人たちにもっと参加していただければと思います。</p>
委員	<p>今、2回目の意見交換会を実施していると思いますが、参加率や年代別の参加者数などはどうなっていますか。</p>
事務局	<p>1回目の意見交換会を5月に、2回目の意見交換会を現在行っていますが、若い人たちの参加は少ないのが現状です。その中でも皆瀬地域では比較的若い人が多かった印象を持っています。</p> <p>市でもなるべく若い人の意見を聞きたいと思っております、湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会にも、議論していただいております。</p> <p>このあと来年度以降においては、もう少し工夫できることがあると思っています。例えば、</p>

P T Aの連合会の会議時に時間をいただいて、説明をさせていただき意見交換することなども検討しています。現在検討中ですので、具体化しましたらこの会でも報告させていただきたいと思えます。また、いろいろなアイデアを委員の皆さんから頂戴できればと思っています。

議 長

私が出席した意見交換会も女性がたった一人で、若い人は0人でした。今後のことを考えると若い人たちに出席していただくのが望ましいと思えます。

これで、本日の議事は全て終了しました。ありがとうございました。

事 務 局

4 その他

事務連絡

5 閉会

